

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	杉並区立こども発達センター たんぼぼ園		
○保護者評価実施期間	令和7年 9月 1日		～ 令和7年 11月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	54	(回答者数) 32
○従業者評価実施期間	令和7年 9月 1日		～ 令和7年 11月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	31	(回答者数) 31
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 3月 1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	福祉職を中心に専門職と連携し、子ども一人ひとりに合わせた集団・個別指導を5時間の療育の中できめ細かく実施できる体制が整っています。	ひとりひとりの発達や興味に応じて柔軟にプログラムを調整し、日々の振り返りを職員間で丁寧に共有することで、翌月の課題や支援方法をより的確に検討できる体制を整えています。	子どもの意見表明権を尊重し、自分で活動を選べる時間と環境を日々保障しています。さらに、一人ひとりの興味や特性を細やかに読み取り、主体性を伸ばすプログラムを計画的に提供できるよう取り組んでいます。
2	保護者支援として、進路や育児に関する個別相談の場を常に確保し、きめ細かなサポートを行っています。また、同じ悩みを抱える保護者同士が交流できる機会も設け、安心して相談し合える関係づくりを大切にしています。	保護者会以外にも、年4回程度の来所機会を設け、専門職から育児や発達に役立つ情報を共有しています。また、たんぼぼ園での子ども達の成長を保護者同士で分かち合える「保護者タイム」を設け、安心して交流できる場づくりにも取り組んでいます。	就労支援・レスパイトを目的に一時預かり事業を拡充し、利用しやすい体制づくりを進めています。
3			

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	情報発信と情報共有が不十分である。	一斉メール、連絡帳、電話、ホームページ等での情報発信をしておりますが、自己評価結果や避難訓練などの取り組みについて十分に周知されていない事柄があることがわかりました。	引き続き、情報の発信と保護者への周知を行っていきます。連絡メールやお便りの内容の充実にも、必要な情報が届くように改善を図ります。
2	地域交流・きょうだい支援の機会が不足している。	地域交流の機会がありますが、年間の回数としては十分とは言えない現状が続いています。交流できる園はバスが停車できることや、徒歩で行けることなど、条件が限られる現状があります。	歩いて行ける範囲の近隣の園との交流を計画していきます。きょうだい支援については、家族交流会の機会を用いて、きょうだいの楽しめる企画を考えていきます。
3	中核的役割を担うための体制構築に課題がある。	児童発達支援センターの中核的役割を果たす質の高い支援を行うことができるように、職員の育成に力を入れる必要があります。	引き続き、外部講師によるスーパーバイズ研修を通して、日々の支援について振り返り、職員間で共有し理解を深めることで職員の資質向上を図ります。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 杉並区こども発達センターたんぽぽ園

公表日 令和8年 4月 3日

利用児童数 54 令和7年 9月 1日 回収数 32

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	31	1	0	0	プレイルーム等はこどもの人数に対し狭く感じる時があります。いつものびのび遊ぶこども達の姿が印象的です。	今後も室内を整理し、活動スペースを広く確保できるよう配慮します。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	32	0	0	0		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	27	4	0	1	こどもにわかりやすい表示や支度の手順が絵カードなどで貼ってあるとよいと思います。安定して座れない子どもにもっと配慮してほしいです。こどもに分かりやすく、シンプルで安全な環境だと思います。	絵カードや写真カードを用いることや使用する遊具など、一人ひとりに合ったものに見直し、わかりやすく安全に活動できる環境を整えます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	25	7	0	0	床やマットに少々ゴミがあるのが気になります。いつも綺麗で、不快に思ったことは一度もないです。プレイルームだけ入ると毎回臭います。	清掃の回数・方法を工夫して、清潔に努めます。
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	27	3	0	2	個別指導の報告がわかりやすく、子どもの成長を考えたあたたかい支援に感謝しています。身辺自立や発語など、苦手なことにももう少し挑戦できる機会があると嬉しいです。	スモールステップで目標を立て、確実にできることを増やせるように取り組んでいます。また、成功体験を重ね、新しいことへ挑戦する気持ちを育てます。お子さんら興味関心に沿いながら、一人ひとりに応じた支援方法を工夫していきます。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	29	2	0	1	親の悩みに合わせた魅力的な内容だと思います。	引き続き公表している支援プログラムに沿った内容を提供します。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	32	0	0	0	日々の子どもの変化に合わせて考えられています。子どもに寄り添ったプログラムを組んでいると感じています。	
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	30	1	1	0		
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	30	0	0	2	計画に記載されている内容が難しく感じます。	支援計画の実施状況を面談で丁寧に説明する機会を設けます。伝わりやすい表記に努めます。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	27	5	0	0	家で出来ない色々な遊びを取り入れてもらっています。	職員間で検討を重ね、今後も子どもの発達や興味に応じた多様な活動を取り入れます。
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	21	4	4	3	もっと増えたらいいと思います。	お子さんが他機関との交流の経験を重ねられるように今後も内容の充実を図っていきます。
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧に説明がありましたか。	30	2	0	0	丁寧に分かりやすいです。	
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	31	0	0	1		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	25	3	1	3	家族支援プログラムは実感しにくいです。	講座内容の見直しや工夫を行い、より参加しやすく実感につながる形に改善していきます。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	31	1	0	0		

保護者への説明等	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	29	1	1	1	職員の働きかけや、子どもの様子については丁寧に教えていただけています。そのうえで、家庭での関わり方や遊び方など、成長につながる具体的なアドバイスもあるとさらに助かります。	日頃の支援内容に加えて、家庭での関わり方や遊びの工夫など、成長につながる助言もお伝えできるよう取り組みます。面談や連絡帳を通して、ご家庭で実践しやすい方法を今後も具体的に共有していきます。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	31	1	0	0	親の心配をしてくれて優しさを感じます。センターの皆さんに助けられています。	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	21	5	1	5	保護者同士の交流は新しい取り組みとして期待していますが、きょうだい同士が交流できる機会はまだまだ少ないように感じています。保護者の交流の場があることはありがたいと思います。	きょうだいのいるご家庭同士が交流できる機会を設けるなど、新しい企画づくりに活かしていきます。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	30	1	0	1		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	28	3	1	0	子どもの視覚支援について、発達や特性に応じて、もう少し個別に配慮してほしいと感じることがあります。また、電話以外にLINEやメールなどで問い合わせができる手段があると、より利用しやすいと思います。	視覚支援についてはお子さんの発達や特性に応じた、より個別性のある支援となるように見直していきます。保護者の方が相談しやすい連絡手段について、今後検討していきます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	21	4	0	7	自己評価は見た記憶がありません。	自己評価の結果については、ホームページに掲載しています。今後は、掲載した際にメール等でお知らせするなど、より分かりやすい情報提供を行います。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	29	1	1	1		個人情報の取扱いについては、引き続き適切な管理を徹底し、十分に配慮した対応を行います。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	25	3	0	4		緊急時の対応については、保護者への丁寧な説明を行います。また、発生を想定した訓練を実施し、安全管理の徹底を図ります。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	25	2	0	5	一度避難訓練に参加させていただきまし。しっかりと備えられていると思います。	様々な状況を想定した訓練を定期的に実施し、緊急時に備えています。また、併設施設との総合避難訓練を年2回実施しています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	29	1	0	2	危険だなどと思うことは無いです。	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	27	0	0	5	都度、細かく報告をうけています。	事故等が発生した際には、速やかに保護者へ連絡するとともに、状況や対応について丁寧な説明を行います。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	32	0	0	0	子どもはもちろん、保護者にとっても大きな安心感があります。	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	30	0	0	2	とても楽しみに通っています。朝の登園準備をしていると気分が高まり、毎日のように「明日は幼稚園？」と聞くほど楽しみにしている様子です。	お子さんが安心して楽しく通っていることを大切に受け止めています。今後も、通所を楽しみに感じられるような支援や環境づくりを継続します。
	29	事業所の支援に満足していますか。	29	1	0	2		保護者が見学などで来所される機会の設定を工夫するまたはバス運行方法の工夫で負担がなるべく減らせるように努めます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			
杉並区立こども発達センター たんぼぼ園		令和8年4月3日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	23	8	支援室に置くものはその時間に必要な物のみとし、できるだけ広く使えるよう配慮しています。環境設定を工夫し、子どもが自分で選択し自由に行き来できる時間を確保しています。	活動内容や時間の調整によって、限られたスペースでも十分な経験ができるようプログラムを構築するよう努めます。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	26	5	職員の休暇や研修が重なる際には人員体制が逼迫することがあります。また、一時預かりの対応の増加で、全体の業務量が増えています。こうした状況の中でも、業務分担を職員全体の体制で補いあい確保しています。	職員体制を確保しつつ、業務が無理なく遂行できるよう、年間スケジュールや業務分担の見直しを進めます。特に出張が重ならないよう調整し、バランスよく業務を運営できるように努めます。
	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	28	3	写真を用いた予定表で見通しを持てるようにし、必要に応じてパーティションで空間を区切るなど、子どもが過ごしやすい環境を整えています。すべてに完全には対応できないが、一人ひとりが安心できるよう、環境の見直しを続けています。	子どもの特性により適した環境づくりのため、視覚支援や空間構成をさらに一人ひとり合うものになるよう努めます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	26	5	経年劣化はありますが、日々消毒を欠かさず、日々の清掃に取り組んでいます。	定期的な清掃に加え、毎日の安全点検の際にも細かな箇所を確認し、必要に応じて改善を進めていきます。お子さんが心地よく過ごせる環境となるよう、引き続き環境管理に努めます。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	28	3	部屋数に限りがありますが、共有スペースを活用することで、活動内容に応じた柔軟な環境づくりを行っています。また、パーティションを使用して空間を区切ることで個別性に応じた過ごし方ができるよう工夫しています。	限られた空間でも導線を工夫し、こどもが落ち着いて過ごせる環境づくりを進めていきます。今後も柔軟に調整できるよう取り組みます。
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	30	1		
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	31	0		
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	30	1		
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	30	1		
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	31	0		
	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	31	0		
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	31	0		
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	31	0		

適切な支援の提供	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	29	2	日常的にグループに関わる職員だけでなく、関係職員にも共有する時間を設けています。	関わる職員全員が児童発達支援計画を把握できるよう十分な時間を工夫して設け、内容を確認し計画に沿った支援が確実に実施できるよう努めます。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	31	0		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	31	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	30	1		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	29	2		活動内容を定期的に見直し、職員全員で発達段階に合わせた遊びや教材を提案し合う仕組みを整えます。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	31	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	31	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	28	3		スポット保育の拡大により、振り返りの時間が十分に取れない状況があるため、業務の流れを見直し、短時間でも確実に振り返りが行えるよう、時間の確保と方法の工夫に取り組んでいきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	30	1		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	31	0		
関係機関や保護者との	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	30	1		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	31	0		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	31	0		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	31	0		更に引継ぎや支援内容について情報共有を行い切れ目のない支援を目指していきます。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	31	0		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	31	0		
30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	24	7		協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等には、委員、事務局として参画するため参加者は限られた職員となっていますが、会議で得た情報や意見は職員間で共有し、事業所全体の支援に生かせるよう努めていきます。	

連携	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	31	0		
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	30	1	連絡帳に気になる記載があれば、電話で速やかに状況を確認したり、必要に応じて面談の時間を設けています。	親子通園日の廃止により直接やり取りする機会は減りますが、その分、連絡帳や面談などを通じて丁寧な情報共有に努めています。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	31	0		現在、家族支援プログラムや研修の実施は十分ではありませんが、次年度から参加しやすい研修機会の企画を予定しています。今後、家庭での関わりに役立つ情報提供の充実にも取り組んでいきます。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	30	1		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	31	0		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	30	1		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	30	1		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	30	1		
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	31	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	31	0		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	31	0		
非常	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	31	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	27	4	関係機関を対象とした施設公開や広報誌を通して、実施している事業内容について地域の方に知っていただく機会を設けています。	行事を地域にオープンな形では実施していませんが、災害時対応を中心に、近隣施設や地域住民と顔の見える関係づくりを進め、防災等における協力的体制の構築を図っています。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	31	0		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	31	0		
非常	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	31	0		
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	31	0		

時 等 の 対 応	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	31	0		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	31	0		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	31	0		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	31	0		
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	31	0		